

事業所名

児童発達支援 こどもあつぷ稲沢

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

1月

5日

法人（事業所）理念		こどもあつぷ稲沢では、子ども一人ひとりが安心して過ごせる環境の中で、自分らしさを大切にしながら成長していくことを支えます。日々の関わりや遊び、生活の積み重ねを通して、子どもが「やってみたい」「伝えたい」「関わりたい」と感じられる経験を大切に、家庭や地域と連携しながら、子どもの育ちに寄り添った支援を行います。							
支援方針		発達の状況や特性、生活環境は子ども一人ひとり異なることを踏まえ、安心できる関係性の中で、生活の基礎となる力や経験を積み重ねていきます。遊びや日常生活を通して、健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性の各側面が相互に関わり合う支援を行い、子どもの「できた」「わかった」につながる過程を大切にします。							
営業時間		平日 学校休業日	10時 9時	00分 00分	19時 18時	00分 00分	まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容									
本人 支援	健康・生活	季節の制作や簡単な調理活動、屋内外での遊び、地域施設への外出などを通して、生活に必要な経験や人との関わりを広げる機会を設けています。これらの活動は、時間の見通しを持つことや、他児との関わり、ルールを意識した行動につながるよう工夫し、日々の支援の延長として行います。行事への参加は一律とせず、子どもの様子に応じて関わり方を調整し、安心して経験を積み重ねられるよう支援します。							
	運動・感覚	屋内外での活動や遊びを通して、身体を動かす経験や感覚への気づきを促します。子どもの興味や体力に合わせた活動を取り入れ、無理のない形で身体を使う機会を提供します。							
	認知・行動	遊びや活動の中で、物の扱い方や順序、簡単なルールに触れながら、考える力や行動の幅を広げていきます。視覚的な手がかりや具体的な提示を取り入れ、子どもが安心して活動に参加できるよう支援します。							
	言語 コミュニケーション	子どもの発声や表情、しぐさを丁寧に受け止め、言葉ややり取りへの興味につなげていきます。遊びや日常場面での関わりを通して、「伝える」「受け取る」経験を重ね、コミュニケーションの土台づくりを支援します。							
	人間関係 社会性	職員や他児との関わりの中で、安心して人と関わる経験を積み重ねていきます。順番を待つ、同じ空間で過ごす、簡単なやり取りを行うなど、集団の中での経験を通して社会性につながる関わりを大切にします。							
家族支援		日々の支援の様子を共有しながら、家庭での困りごとや不安について相談できる機会を設けます。保護者と連携し、子どもの育ちを一緒に見守りながら、家庭での関わりにつながる支援を行います。			移行支援		園や関係機関と連携し、生活や環境の変化に向けた準備や引き継ぎを行います。子どもが新しい環境でも安心して過ごせるよう、段階的な支援を心がけます。		
地域支援・地域連携		関係機関や地域資源と連携し、子どもと家庭を取り巻く支援体制づくりを行います。必要に応じて情報共有を行い、地域の中で安心して生活できる環境づくりを支援します。			職員の質の向上		職員間での情報共有や振り返りを大切に、研修や学びの機会を通して支援の質の向上に努めます。日々の支援を見直しながら、子ども一人ひとりに合った関わりを検討していきます。		
主な行事等		季節の制作や簡単な調理活動、屋内外での遊び、地域施設への外出などを通して、生活に必要な経験や人との関わりを広げる機会を設けています。これらの活動は、時間の見通しを持つことや、他児との関わり、ルールを意識した行動につながるよう工夫し、日々の支援の延長として行います。行事への参加は一律とせず、子どもの様子に応じて関わり方を調整し、安心して経験を積み重ねられるよう支援します。							